

# 現代のLED照明に求められるのは⇒省エネ長寿命ブ

当社製品は  
日本国内工場でアッセンブリー  
電源部はPSE、  
設計寿命10万時間（定格寿命40,000時間）  
数多くの実践と経験でしか生み出せない  
独自のLEDテクノロジーです。



1 長寿命・低消費電力・低発熱

2 紫外線・赤外線が少ない

3 CO<sup>2</sup>削減効果

4 即時点灯・消灯

5 有害物質不使用  
虫が寄りつきにくい

memo

LED蛍光灯はたくさんの種類があり、価格もさまざま。  
当社では約10年前からLED蛍光灯を販売、施工。  
その経験の中でLED蛍光灯を選択する時のポイントとして…

## ■設計寿命を必ず確認しましょう！ (パンフレットには書かれていません)

定格寿命が40000時間なのに、海外のエンジニアと話をしたときに設計寿命が25000～40000時間という矛盾が多くあります。

日本人の感覚からすると信じ難いのですが、実際の話です。

通常LEDの寿命40000時間は、LEDが切れる時ではなく、初期照度が70%に落ちる時間と説明されますが、切れる時があります。原因としては「電源寿命」「ハンダクラック（断線）」\*などです。

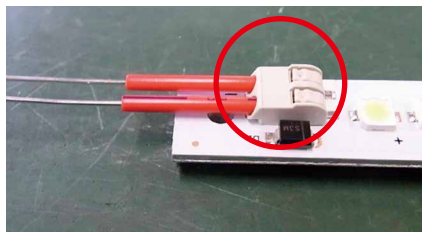
その中でも「電源寿命」が重要で、环境温度等により寿命が半減するパーツも有りますので、そのリスクも含んだ余裕の設計寿命が大切です。

当社では定格寿命40000時間に対して2倍以上の「10万時間の設計寿命」で開発しています。また、ハンダの断線が無いように、ハンダでの接続ではなく、15kgの荷重に耐えられる端子台を使用しております。

- ① 省エネであること…
- ② 電源部にPSEを取得していること
- ③ 高調波規制を準拠していること
- ④ 十分な照度を確保すること  
(HFインバーター式の照度にも対応できること)
- ⑤ 日本製であること
- ⑥ ライセンスに違反しないこと
- ⑦ 軽量であること(300g以下)
- ⑧ 安価であること…  
減価償却できることは当然
- ⑨ 今後の規格に対応できること
- ⑩ 落下などのリスクがないこと
- ⑪ 演色性能が80以上であること
- ⑫ 力率が100%に近いこと
- ⑬ 耐久性、信頼性が高いこと



\*ハンダクラック(断線)  
微接触 → 発煙・発火が最悪のシナリオです。



当社の製品の端子台仕様

**POWER GREEN**<sup>®</sup>  
We'll take you further!